

平成20年5月1日から戸籍の窓口では 運転免許証 写真付き住民基本台帳カード などの証明書による「本人確認」が 法律上のルールになります



住民票や戸籍は、現住所及び結婚・離婚、親子の関係などが記載される大切なものです。これらの証明書は、他人に不正に取得されないようにしなければなりません。

また、他人が虚偽の届出をすることにより、真実でない記載がされることのないようにしなければなりません。そこで、法律により次のようなルールが定められました。

住民票・戸籍証明書がほしいのですが...

窓口では



「本人確認を行います」

窓口に来られた方について、運転免許証、写真付き住民基本台帳カードなどの写真付きの本人確認書類の提示により、確認を行います。代理人や使いの方は、さらに委任状などの書面により代理権限の確認も行います。

郵送では

本人確認書類の写しを同封し、返送先は住民登録地の住所となります。



「正当な理由を明示してください」

本人等以外の方については、自分の権利を行使したり、自分の義務を果たしたりするために戸籍や住民票の内容を確認する必要があること、国又は地方公共団体の機関に提出する必要があることなどの正当な理由を、請求書に詳しく書くことが必要となります。

戸籍の届出をしたいのですが...

養子縁組、協議離婚、婚姻、協議離婚又は認知の届出（以下「縁組等の届出」）について、以下の取扱いが法律上のルールになります。



「本人確認」を行います

窓口に来られた方について、本人確認を行います。本人確認の方法は、戸籍証明書の交付請求の場合と同様です。



「通知」を行います

窓口に来られた方が、縁組等のご本人であると確認できなかった場合は、縁組等の届出が受理されたことを本人に通知します。



「不受理申出」を受け付けます

自分自身が窓口に来たことが確認できない場合には、縁組等の届出を受理しないよう、あらかじめ市区町村に申出することができます（不受理申出）。

不受理申出及びその取下げは、戸籍窓口で行ってください。

その際の本人確認の方法は、戸籍証明書の交付請求の場合と同様です。



「嘘の届出」をすると...

制裁の強化 = 偽り、その他の不正な手段によって戸籍証明書の交付を受けた者は、刑罰（30万円以下の罰金）が科せられます。

本人確認の詳細などについては、市民課 0920(53)6111までお問い合わせ下さい。

同様に、税務窓口でも証明書の申請の際は、「本人確認」を行います。

楽しくジョギング&ウォーキング
豆酩の里ロード・レース大会



大人も子どもも楽しくレースに参加



参加賞の中身を確かめる参加者

会場内では、豆酩みかんの販売も人気でした。

3月9日、第21回豆酩の里ロード・レース大会が開催され約600人の参加者で賑わいました。
大会は豆酩中学校前をスタートして豆酩集落を抜け、その周辺の道路を通る4.4kmと8.0kmのコースで行われました。
上位を目ざし真剣に走るランナーに加え、早春を迎えた豆酩地区の豊かな自然を楽しみながらゆっくり自分のペースで走る参加者や、おしゃべりをしながらウォーキングを楽しむ子どもや家族連れなどがレースに参加し、全員がリ

タイヤすることなく無事完走・完歩しました。
また、参加賞が豪華なことでも有名なこの大会。今年もジェットフォイルの乗船券やガソリンの引換券、ホテルの食事券等に加え、しいたけのホダ木といったユニークな賞品も用意され、無作為に参加者に配られました。
参加者は、賞品の中身が何なのかワクワクしながら確認し、運良く豪華な賞品が当たった参加者は喜びの歓声を上げていました。

【大会結果】各部門3位まで、敬称略

8 km 《一般》	男子	日高久朋	25分37秒	犬塚信之介	26分49秒	阿比留勇次	30分50秒
	女子	中村さつき	45分13秒	日高政枝	53分21秒	村瀬文乃	59分33秒
4.4km《一般》	男子	阿比留善光	13分46秒	寺田長寿	14分01秒	川上朋弘	14分19秒
	女子	網代麻美	25分19秒	島本美和	27分40秒	林律子	28分12秒
《中学生》	男子	早田太一	14分53秒	川邊健太郎	15分23秒	松永健太	15分32秒
	女子	阿比留瞳	17分28秒	長杏南	18分58秒	近藤彩夏	19分34秒
《小学生》	男子	松原弘輝	14分59秒	河内太良	16分11秒	佐護賢也	17分33秒
	女子	林亜依梨	18分47秒	原田莉帆	18分57秒	網本さや	19分26秒

「大きな木に育ちますよう!!」

舟志の森で植樹祭

市民約100名がドングリの苗木を植樹



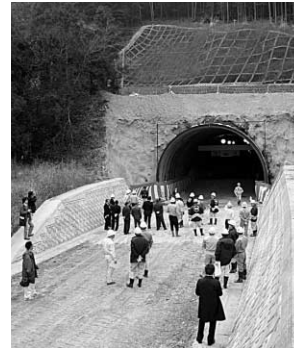
上対馬町の舟志の森で3月16日、舟志の森づくり推進委員会による植樹祭が昨年に続き開催されました。舟志の森では、森林管理を推進することでヤマネコをはじめとする野生生物の保全と共に、木材の質の維持・向上を図り、人と自然が共生するモデル林を確立することを目的として、地元地区、ツシマヤマネコ応援団、住友大阪セメント(株)、対馬野生生物保護センター及び対馬市が連携して昨年2月に舟志の森づくり推進委員会を立ち上げ、森づくり活動が行われています。

温かい陽気に包まれた当日、会場には市内各地から家族連れなど約100名が集まり、用意されたクリ、コナラ、シイ、カシなどの苗木200本を植樹しました。

まだ小さい子どもたちも参加して、親の手を借りながら木を植えていました。植樹を終えた参加者は、苗木をシカ等の被害から防ぐヘキサチューブと呼ばれるプラスチック製の保護材に「大きく育てね」などの願いを書き込み、木を取り囲むように設置しました。植えられた苗木は約15年ほどでドングリを实らせるそうです。

上対馬町琴ヶ芦見
城岳トンネル貫通

距離1500m、
車で4分の時間短縮



上対馬町琴ヶ芦見地区を結ぶ長崎県発注の主要地方道上対馬豊玉線道路改良工事「城岳トンネル」の貫通式が、3月13日開かれ、地元住民や工事関係者ら約50名が集まり貫通を祝いました。

同トンネルは全長640、車道幅員5.5で、昨年7月から工事が進められてきました。完成すると道幅が狭く急カーブが連続する現在の道路より距離にして1500、車で通行した場合は約4分間の短縮となります。同トンネルの校区内には南陽小学校（一重）と南陽中学校（琴）があり、通勤、通学等の安全の確保のほか、大型車両の通行もスムーズになり、産業、経済

の進展に大きな効果が期待されます。
平成22年春に供用が開始される予定です。

愛称「対馬やまねこ空港」
応募者の中から
松尾信一さんを表彰



表彰を受けた松尾信一さん

対馬市は対馬空港の愛称として採用された「対馬やまねこ空港」の応募者107名の中から、抽選で選ばれた松尾信一さん（上対馬町豊・48歳）に3月16日、上対馬総合センターで表彰状と副賞の対馬長崎ペア往復航空券を贈呈しました。

豊小学校の校長先生という松尾さんは、対馬の象徴であるツシマヤマメコにちなんでこの愛称を応募したそうで、「多くの方に親しんでもらい空港の利用が活発になってもらえたら」と話していました。

シリーズ「人権教育総合推進地域事業」の取組 その

人権コラムの掲載を始めました!

平成20年度がスタートし、人権教育総合推進地域事業も研究3年目に入りました。『いつでも・だれでも・どこでもできる人権教育をめざして』の研究テーマのもと、推進協力校の佐護小中学校の取組を核として、地域の関係機関と連携・協力しながら、より日常的な人権教育の推進を図っていきたくと考えています。

今年度はこうした活動の一環として、本研究の最初に講演をしていただいた江頭明文氏（現長崎県教育庁義務教育課長）が、以前県PTA新聞等に寄稿されたコラムを紹介していくことにします。日頃の何気ない出来事の中にひそむ人権にかかわる課題を、鋭い視点からわかりやすく示されています。私たちの日常を見直す一つのきっかけにしていきたいと思っています。

対馬市教育委員会

人権コラム

昔、夫婦と老人と4歳になる子が、4人で住んでいました。老人は年をとって食べ物をこぼし、きたならしくよこすようになりまして。

そこで、夫婦は老人をテーブルではなく、ものかげで食べさせることにしました。老人は涙をため、ため息をつきました。が何も言いませんでした。

老人は、ますます年をとり手がふるえて、不自由になりました。そして、ある日、陶器の食器を落としてこわしてしまいました。

夫婦は、これからもこわされてはかなわないので老人には粗末な木の皿をあてがうことにしました。

しばらくして、4歳の子が木片を刻んでいるのを夫婦はみつめました。

「坊や、何してるの?」
「木で皿をつくってるの?」
「その皿、どうするの?」
「うん、僕が大きくなるころは、パパもママも年をとるだろう。そのころ、この皿が食べあがるから、これでご飯を食べさせてあげるの……。」

【「グリム童話」より】

皿を刻む我が子の姿を見たこの夫婦は、一体どうしたと思いますか?

「子は親の鏡」と言われますが、木の皿を刻む我が子の姿は、「親の姿」を物語っていると言ってもいいでしょうね。であれば、教育って「親の生き方」そのものなのかもしれませんね。子どもたちは、「お父さん、お母さん、私の姿をもっとしっかりみてよ。そして自分の生き方を振り返ってみてよ。でないと、私の教育なんてできないよ。」と語り続けているのかもしれないね。

だから、教育って大変なんでしょうね。

あなたのお子さんを、もう一度見つめ直してみませんか。きっとあなたが見えてくるはずですよ。

がんばってお母さん
がんばってお父さん

【県PTA新聞コラム

「いぶき」
平成4年4月10日発行